

## NALC横浜 第18回定時総会議事録

日 時： 平成24年6月3日(日曜日)13時00分～15時40分(懇親会15時50分～17時10分)

場 所： 大和市生涯学習センター

来 賓： 東横浜副代表 柿田健一郎様

川崎事務局長 黒田睦男様

南横浜代表 小野里康興様、副代表 早川和子様

静岡東部代表 服部光之様、中野富美子様

栃木事務局長 走出政視様

専務理事 河口博行様

司 会：吉武道子

議長：棟保禎彦

書記：小澤好幸

### 1. 開会宣言

吉武道子司会から、出席88人および委任状166人、合計254人であり、会員総数453人の1/3以上を満たしているので総会が成立した旨の報告があり開会を宣言した。

### 2. 荒井副代表挨拶

平成7年9月にスタートしたナルク横浜は今年の9月に17年となる。「自立・奉仕・助け合い」をモットーとして積極的に活動を推進してきた結果が現在のナルク横浜である。

横浜ナルクのスローガンとしている「やさしさも楽しさもあるナルク横浜」のように、ボランティア活動と並行して同好会活動も活発化したい。この4月に「ほっとサロン」を開設し活動を開始した。

### 3. 来賓挨拶、南横浜代表 小野里康興様

18回目の定時総会を迎えたナルク横浜の今後の更なる発展を祈念する。

本部定時総会(5月25日)において、「2012年度事業計画案」に関して横浜3拠点代表が連名で提出した意見に基づき一部修正された。

### 4. 議事 (以下、要点のみ記載)

#### 1) 第1号議案 平成23年度一般経過報告：福江事務局長

23年度は特に会員間の交流拡大と新入会員の増加に注力した。

結果は年度末人員で453名(マイナス23名)、時間預託点数は6,074点(前年度比90%)、奉仕点数5,200点(同比105%)となった。

(パワーポイントにより年間の主要イベントを説明した。)

#### 2) 第2号議案 平成23年度決算報告：上園会計

収入支出および財産の詳細は議案書6頁の通りである。

年間の収支差は376千円となり、年度末正味財産は10,301千円となった。

#### 3) 第3号議案 監査報告：笹木監事、西野監事

決算書類等に基づき監査を実施し、正確かつ適正な会計処理であったことを確認した。

- 4) 第4号議案 平成24年度の活動方針:吉川代表  
①「ほっとサロン」を大きく育てよう ②ひとり暮らしの見廻り ③会員間の交流拡大 ④地域に根ざした活動⑤ブロック交流会を活発に ⑥ナルク本部・東京事務所、神奈川東京5拠点との連携強化
- 5) 第5号議案 平成24年度予算:上藺会計  
収入3,029千円、支出3,029千円、収支差なし
- 6) 第6号議案 運営規則変更: 福江事務局長  
変更なし
- 7) 質疑応答  
Q:エンディングノートの法的有効性は?  
A:エンディングノートは法的対抗力はない。あくまでも後に残された家族等に対して、自分の意志や思いを伝える手段である。
- 8) 議長は全議案に対して、拍手により出席者の賛意を確認した。
- 9) 運営委員の退任、新任の紹介  
退任:浜谷惇、笹木秀治、北原健一、後沢忠夫  
新任:小澤好幸、中尾保子、吉田正二、田原菜穂美、  
代表交代 新任:吉川武 退任:谷口幸造(顧問就任)  
監事新任:沼沢新太郎  
事務局次長新任:棟保禎彦

5. 事例発表 「ナルク成年後見契約第1号を締結」ナルク日常活動の延長として一

ナルク栃木 事務局長 走出政視氏

- 成年(任意)後見契約第1号とはいえ、特段のことはしていない。日常活動の中でナルクを良く理解し、相互に信頼関係ができた結果と考える。
- ナルク栃木も他の拠点同様新入会員確保に苦労している。いろいろ試みたが、会員の紹介がいちばん有効であった。
- 横浜との違いは施設向け活動がないこと。会員同士の助け合いを重要課題としている。とくにナルク栃木で多い活動は送迎であり、60%を占める。
- 優しさ、愛情を主眼に顔が見える活動を目指している。暑気払い、芋煮会などの全体交流会を年に4回実行している。
- 多くの会員が参加できる活動を行っている。
  - ・会報手配り(45人が参加)
  - ・アルミ缶回収(環境美化活動を兼ねて。50缶で奉仕点数1点)
  - ・送迎(人口透析患者。学童保育) など

以上